

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭 RC 会長 / 北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン
例会日 月 3 回 水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2025年4月16日 第2577回例会 VOL.56 No.30

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

■出席報告

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 会員数 | 21名 | 本日の出席数 | 13名 |
| 本日の出席率 | 65.00% | 修正出席率 | 71.43% |

■本日の欠席者

日向、草柳、中谷、二宮、佐藤(勉)、宋、田川

■他クラブ出席者 新川(鈴鹿ベイ RC)

■会長報告 北澤 正浩

皆さま、こんにちは。

まずは、先日(13日)のガールスカウト主催クリーン作戦に参加して下さった皆様に感謝いたします。

さて、今週の話題としては、ついに開幕を迎えた「大阪・関西万博」についてです。

先日、13日の日曜日に開会式が行われ、これから10月13日までの184日間、世界158の国と地域が参加する国際博覧会として、大阪の夢洲を舞台に開催されます。

この万博は、日本にとっては2005年の愛知万博以来、20年ぶりとなる大規模な万博であり、未来社会の実験場という位置づけで、最先端の技術やアイデアが集まる場として期待されています。一方で、その道のりは決して平坦ではなく、開催前から数多くの課題や問題を抱

え、メディアや世論の中でもネガティブな意見が多く聞かれました。

私自身も、国内での盛り上がりの薄さに一抹の不安を覚えておりましたが、こうして無事に開催にこぎつけたことについては、まずは素直に「よかった」と胸をなで下ろしております。

この「無事に開催できた」という事実の背後には、言うまでもなく、多くの関係者のご尽力があります。政府関係者、企業、運営団体の方々の努力が、そこには積み重ねられています。

その中で、私は建設業に携わる者として、建設従事者の方々パビリオンや各種施設の整備に関わった現場の皆さんの苦労を想像せずにはいられません。このような大規模プロジェクトでは、計画段階から常に様々な課題が噴出し、どうしても当初のスケジュール通りには進みません。そして、しわ寄せはたいてい会場を施工する現場に押し寄せてきます。

プロジェクトチームは、遅れを取り戻すために施工に無理を求めます。その結果、施工側は利益を削り、昼夜を問わず工事にあたり、人員を増強し、時には安全や健康面への配慮もギリギリのところまで追い込まれながら、何とか間に合わせようと必死になります。

今回の万博においても、そうした現実があっ

たことは、現場を知る者として容易に想像できます。完成した建物や施設を目にして「ようやく完成したか」と多くの方が安堵する一方で、そこに至るまでにどれだけ多くの汗と努力、そして時間が注がれたかを、私たちは忘れてはならないと思います。

華やかな舞台の裏には、見えないところで支えている人たちがいます。その中には、我々建設業界の仲間たちも数多くいます。私は、今回の万博開催にあたって、そうした方々に改めて敬意と感謝の気持ちを伝えたいと思います。

そして今後、万博がより多くの人々にとって有意義な体験の場となり、日本の未来、そして地域の活性化にもつながっていくことを心から願っております。

■幹事報告

市川 慎二

例会臨時変更のお知らせ

▷横浜田園 RC

5月20日(火) 横浜緑・横浜田園 RC 合同例会

新横浜グレイスホテル 点鐘 18時

▷横浜南 RC

5月31日(土) 夜間例会

■ガールスカウト神奈川県第102団団委員長

吉田 いづみ

拝啓 本日はお忙しい中、メンバーの方々にクリーン作戦にご参加いただき、誠にありがとうございました。

毎年皆様方に温かく見守っていただきながらの清掃活動は、安心して活動ができ感謝申し上げます。今年もつつじの植え込みがかなり茂り、ゴミを取るのに苦労しましたが、スカウトたちは一生懸命ごみの回収を頑張っております。

ごみの量は減りつつありますが、マスク、空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻などはゼロにはなりません。道行く方々に「ご苦労様」と声をかけられることは、スカウトたちの励みになり、この清掃活動を継続することで、地域に根差した活動の重要性を改めて感じました。

2024年度102団は30周年を迎え、北澤会長様にもお祝いのお言葉をいただき、その記念



誌が出来上がりましたので、例会の始めに伺ってお渡ししたいと考えております。ご連絡を頂けると幸いです。

最後になりましたが、毎年活動支援のお心遣いありがとうございます。

まずは御礼申し上げますとともに、今後の横浜旭ロータリークラブ皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。 敬具

■ロータリーの友の紹介

新川 尚

横組み p. 7 ~

目指せ！防災のの TKB48

「避難所のストレスをいかに減らすか」

先週の卓話ですので、割愛します。

p. 18 ~

探訪 The Partner (公財) 米山梅吉記念館

記念館がリニューアルされた。AIを駆使した動く米山翁を制作。Youtubeチャンネルも開設。

縦組み

p. 4 ~

SPEECH

身近な水から本来の地球を考える

今月の月間テーマは環境ということで、水に関する卓話となっています。

p. 17 ~

友愛の広場

「RI本部を訪ねて」

シカゴのエバンストンにある国際ロータリー世界本部の紹介。

見学できるとは知りませんでした。

p. 19 ~

卓話の泉

「野良猫と共生するために」

記事を読んで、兵藤会員を思い出しました。

■会長エレクト 五十嵐 正 2025-26 年度 会長方針

この度、横浜旭ロータリークラブの 2025-26 年度の会長を務めさせて頂くこととなりました。実はこれで 2 回目の就任となります。前回は 17 年前。当時はスマートフォンも無く、今思えば「例会中にメールが届く」なんてこともなかった時代でした。

クラブは創立 57 年。長い歴史の中で、多くの先輩方が築き上げてこられたこのクラブの舵を、再び取らせて頂くことに、身の引き締まる思いです。一年という短い期間ではありますが、皆さまのご協力を頂きながら、充実した活動を進めて参りたいと思います。

次年度の国際ロータリー、マリオ会長のメッセージは「よいことのために手を取りあおう」です。大切なのは、「継続性」「革新」「パートナーシップ」の三つ。まるで三種の神器のようですが、この 3 つのバランスが、ロータリークラブの未来を豊かにする要なのだと思います。

また私たちのクラブのテーマを「地域とともに、未来を育むロータリー」としたいと思えます。少子高齢化や価値観の多様化が進む中、地域社会の一員として、柔軟で開かれた姿勢がこれまで以上に求められています。このような時代背景のもと、現在進行中の 3 カ年プロジェクトは 2 年目に入ります。学校、自治会、福祉団体、商店街など多様な地域の担い手と手を組み、課題を共有しながら、共に未来を築いていく活動を展開してまいりたいと思います。

会員増強もまた、大きな課題のひとつです。様々なバックグラウンドを持った方々が気軽に参加できるよう、例会の内容や運営方法を見直し、誰にとっても心地よいクラブ運営を目指したいと思います。

さらに、国際ロータリーが掲げる重点分野、平和構築、水と衛生、教育支援、環境保護などへの貢献も、私たちにできる形で継続してまいります。

一年間という限られた時間ではありますが、皆さまの温かいご支援とお力添えをいただきながら、笑顔のあふれる一年をともに築いていきたいと思えます。

「楽しくなければロータリーじゃない！」の心を忘れず、歩んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

■次年度幹事報告 関口 大樹

次年度幹事を務めさせて頂き関口です。よろしく願いいたします。

早速ですが、只今の次年度会長方針にもとづき、各委員会の皆様には、5 月末末までに活動計画書をまとめ、私まで提出をお願いします。

■古川特別会員のご挨拶



■ニコニコ BOX

中島 徹／関口さん、本日は卓話、よろしく願いいたします。

関澤 信吾／関口さん、本日の卓話楽しみにしています。

佐藤 真吾／久しぶりの夜間例会参加です。関口さん卓話よろしく願いいたします。

岡田 隆／関口さん、本日の卓話楽しみです。よろしく願いいたします。

五十嵐 正／関口さん、本日は卓話よろしく願いいたします。

目黒 恵一／①関口会員卓話よろしく願いいたします。②古川先生お久しぶりです。お元気ですか？

新川 尚／関口さん、卓話楽しみです。

市川 慎二／①関口さん卓話宜しく願い致します。②ガールスカウトとの活動に参加された皆様お疲れ様でした。

北澤 正浩／関口さんの卓話、楽しみにしております。

安藤 公一／①関口さん本日の卓話よろしくお願ひします。②古川さんようこそ。③ガールスカウトとの清掃活動お疲れ様でした。

■卓話「新卒採用の取り組み」 関口 大樹

改めまして、みなさんこんばんは。

卓話のお時間をいただき、ありがとうございます。

本日は、「新卒採用の取り組み」と題してお話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

改めて、今年度入会された方、そして本日は古川先生にも来ていらっしゃいますので、私の自己紹介を簡単にさせていただきます。

私の名前は関口大樹と申します。年齢は42歳で、次の6月で43歳になります。住まいは旭区の中白根になります。家の近くには相鉄ローゼンがあり、ピンと来る方もいらっしゃるのではと思います。家族構成は、妻、中2の長男、年長の次男の4人暮らしです。趣味は学生時代に始めたサーフィンと、長男のサッカー観戦、筋トレです。最近、筋トレにはまっておりまして、2月から会社の福利厚生の一環でチョコザップに通っています。

長男は現在、新横浜の大豆戸FCというクラブチームにお世話になっています。平日は週3回練習があり、往きは自分で電車を使っていますが、活動が終わる時間が遅い為、基本的には帰りは私が車で迎えに行っています。週末はほとんど試合が入り、自分で電車を乗り継いで会場まで行きます。他県での試合も多く、先週は土曜日が千葉県千葉市の検見川で朝から夕方まで試合があり、翌日の日曜日は朝から東京都調布市で試合がありました。本人も学業とサッカーの両立は苦労していますが、とにかく今の環境が楽しいようで、毎日が充実していると話しています。

次男はこの4月から幼稚園の年長で、外遊びが好きでとても活発な子です。また、生き物に興味があり、水族館や動物園が好きです。



この写真は、3月の終わりに家族で新潟へ行った時の写真です。2年前から冬は雪山に行くようになりまして、次男の面倒を妻と交代で見ながら、家族でスノーボードを楽しんでいます。今まで海ばかり行っていたのですが、雪山の頂上から見る景色はとても壮大で、今は冬は雪山に行くことが趣味の一つになっています。自己紹介は以上で終わります、ここから私が勤めているカナエルの紹介をさせていただきます。

企業名は株式会社カナエルといいまして、LPガス供給、ガス機器及び住宅設備機器販売、住宅リフォーム事業を行う会社になります。設立は1965年8月で、今年の8月で60年を迎えます。従業員数はパート社員含めて約70名おります。

会社の所在地ですが、旭区鶴ヶ峰本町に本社があります。鶴ヶ峰駅から徒歩12分ほどの場所になります。本社の建物は2006年に建設されました。国道16号線沿いにあり、ショールームにはガス器具を見に来られるお客様、リフォームを検討されているお客様など、毎日いろいろな方が来られます。

本社とは別に神奈川西支店という建物がありまして、秦野市の平沢という場所にあります。国道246号線沿いで、小田急線の渋沢駅から徒歩15分程になります。元々は伊勢原と小田原に営業所があったのですが、今から9年前に2つの事業所を統合し、神奈川西支店が誕生しました。本社と同様、こちらにもガス器具の展示を中心としたショールームがあります。

続きまして、グループ会社の紹介をさせてい

たきます。

当社にはグループ会社が2社ありまして、1社目は株式会社三和トラストという会社で、2021年にM&Aでグループ化をしました。所在地は東京都練馬区で、主にビルやマンションの大規模修繕工事を行っています。

もう1社は、株式会社ダイトー建設不動産という会社で、こちらもM&Aで2024年にグループ会社となりました。所在地は小田原市で、主に新築住宅販売を行っています。

続きまして、話は変わりますが、当社で行っている地域貢献活動について紹介させていただきます。2年前からビーチクリーン活動に取り組んでおりまして、年に数回、活動を行っています。活動場所は神奈川県内の海岸で、これまでに平塚や横須賀、三浦で実施しました。この写真は、横須賀の走水海岸になります。

毎回5人程度の少人数で活動しており、今年は4/18に1回目の活動を行います。

続きまして、本題に入らせていただきます。新卒採用活動についてということで、社員の採用についてお話をさせていただきます。

今日の卓話で何をお話ししようか迷ったのですが、実際に自分が人材採用にこれまで携わってきた中で、この経験が少しでも何か皆さんの役に立てれば考え、今日はお話をさせていただきます。

まず、今の日本の採用市場についてですが、これはもう何年も前からニュースで取り上げられていますが、現代は売り手市場と言われていきます。売り手市場とは、企業が求める人材の数に対して、就職希望者の数が少ない状況を指します。求職者側は、複数の選択肢のなかから理想の就職先を選びやすい立場にあります。逆に企業側は人材の確保が難しく、人材獲得競争が激化します。ということで、今から10年ほど前まではこの逆で買い手市場という現象が起きており、企業が求める人材の数に対して就職希望者の数が多く、企業が学生を選べるという状況でした。採用市場の状況が完全に逆転したことにより、当社も以前は採用求人を出せば何

十人と応募があり、その中から採用者を選んでいましたが、売り手市場に代わってからは求人を出しても全く応募が来ないという年が何年も続きました。

従来、当社での採用活動は、ナビサイトに広告を出して学生のエントリーを待つという方法でした。例えば、マイナビやリクナビといった媒体になります。以前はナビサイトからの応募で採用ができていましたが、売り手市場の傾向が強くなるとともに、応募はあるものの採用までたどり着かないということが多くなり、採用方法を見直す必要が出てきました。そこで当社が2020年入社の新卒採用から取り入れたのが、企業から学生へ直接オファーを出すというスカウト型の採用活動になります。

学生へスカウトを送信するにあたり、当社が利用しているサイトの紹介になります。オファーボックスという求人サイトになりまして、2020年卒の新卒採用から使っています。新卒採用に特化したサイトで、主に大学3年生と4年生合わせてここ数年は20万人ほどの学生が登録しています。私が利用を始めた当初は、スカウト型の求人はまだ一般的では無かったので登録している学生も企業も少なかったのですが、2年ほど前から急に増えてきました。利用方法としては、分かりやすく言うと、マッチングサイトの就活版といったところです。

こちらが実際に当社でスカウトして、この4月から入社した学生のプロフィールになります。彼について、大学3年生の秋頃から就職活動を始めて、スカウトの承認を経て、個別面談や会社説明会を通じ、大学4年生の6月に内定承諾となりました。こちらの画面では氏名や大学名は伏せさせていただきますが、企業からスカウトをしてスカウトを承認してもらえると、学生本人の氏名や住所といった情報を得ることができます。

こちらの画面は、プロフィールの詳細になります。趣味やアルバイト、大学で専攻して勉強していることなど、学生が自分自身を企業にアピールするものになります。

(学生が希望する企業タイプ、採用人数の推移説明) 本日卓話は以上となります。あまり参考になる話ではなかったかもしれませんが、もし新卒採用のことで個人的に聞いてみたいことなどありましたら、いつでも言っていただければ全てお伝えします。

以上で最後までご清聴いただき、ありがとうございました。

■ロータリーボイスより

新クラブが森林火災の被災者支援に奔走

投稿日: 4月8, 2025 投稿者: Rotary Japan

寄稿者: トレイシー・トンプソン・ブーサ (米国カリフォルニア州、マリナ・デル・レイ・ロータリークラブ会員)

2025年1月7日、カリフォルニア州ロサンゼルスで史上最悪の被害をもたらした山火事が、パシフィック・パリセーズ、マリブ、イー-tonを襲いました。

設立からわずか8カ月のマリナ・デル・レイ・ロータリークラブは、被災者を支援しようとすぐに立ち上がりました。火災発生からわずか2日で、緊急支援の必要性を認識した私たちは、「ハート・オブ・ハーバー (港の心)」という特別タスクフォースを結成。ウェストサイド最大規模の募金活動を開始しました。

SNS や口コミで支援を呼びかけ、地元のヨットクラブとも連携。1,000人以上の市民が、被災者や消防士、救急隊員のために寄付を届けてくれました。ボランティアの呼びかけには200人が応じ、トラックやバン、車でロサンゼルス全域で物資を集め、届けました。別のボランティアチームは、1,000個のサンドイッチを作り、支援者に配布しました。

わずか4日で、私たちはフィッシャーマンズ・ビレッジに臨時の配送センターを開設。トイレタリー用品や衣類、保存食、商品券、義援金などを、必要とするすべての人に無料で提供しました。寄贈物資は、個人、地域団体、企業スポンサーからトラック単位で続々と届きました。

私たちはロサンゼルス市や郡の当局、ウェスト・サン・ガブリエル・バレーのボーイズ&ガー



ルズクラブ、地元企業、ほかのロータリークラブと連携し、刻々と変化するニーズに対応しました。

こうした取り組みはメディアにも注目され、朝のニュース番組「Good Day LA」で5回にわたり紹介され、郡当局からも表彰されました。

クラブ会長のカーティス・サンドブロムさんと理事会のリーダーシップのもと、32人の会員は今も被災者とつながり続け、住居や家具、生活必需品など、再出発に必要な支援を行っています。週末にはトラックで海岸沿いの被災地域を巡り、懸命な活動を続ける警察官、消防士、州兵へ物資を届けています。

これまでに、救急隊員へ2,000食以上の食事を提供し、45台のトラックと250人のボランティアを動員して、総重量50万ポンド(約226トン)以上の物資と8万ポンド(約36トン)の飲料水を届けました。

私たちは、この活動を通じて、地域社会に信頼されるロータリークラブの存在を築いてきました。大規模かつ継続的な支援活動を成功させるには、会員それぞれの才能を見出し、それを活かすことが不可欠です。全員に役割を持たせ、共通の目的を持って動くことで、クラブは一層強くなりました。

活動の評判が広がる中で、クラブへの関心も高まり、今では入会希望者の順番待ちリストができるほどです。

この活動にご協力くださった地域の皆さま、地元のリーダーの方々、ロータリー第5280地区、近隣企業の皆さまに心より感謝申し上げます。

■次回例会

5/14 クラブ協議会